

2018年度 事業所内 放課後等デイサービス自己評価集計結果

2019年3月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	事業所より
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2		ガイドラインに定められている基準は遵守しておりますが、利用者及び職員が多い場合は狭く感じる為、外出などで緩和しております。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		配置基準は満たしておりますが、利用者の行動特性や性別などにより配置調整しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化など安全面の配慮が適切になされているか		3	4	建物の構造上の問題により、玄関口のバリアフリー化が困難である為、現在肢体不自由児童の受入れは出来ておりませんが、その他震災時などで転倒の恐れがあるものについては補修を行います。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	1	職員全体で業務改善の意見を出し合える環境と場を設けたいと思います。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		今後も評価結果を踏まえ、対策を検討致します。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	4		今年は諸事情によりホームページ上での公開は出来ておりませんが、各ご家庭に配布をさせて頂いております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	2	外部評価機関との連携は継続的な検討課題となっております。
	⑧	職員の質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	6	1		外部研修なども積極的に参加できるよう環境はある程度整っておりますが、日程の調整等が厳しい状況です。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		保護者さまとの面談機会も増えましたが、子どものニーズの把握にはまだまだ課題もあり、より分かり易いサービス計画書の作成を目指します。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	1	発達障がい早期発見などを目的とする内容にはなっておりませんが、発達障がいを持つ児童の適応行動の状況を図る為の内容としては標準化されております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	1	月の活動テーマや枠組みを見管が決め、各職員が週単位で具体的な活動や配置などを立案し、内容を精査した上で実施しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6	1		個別のプログラムにはまだまだ課題もあり、地域の活動や行事の参加など積極的にも取り入れたいと思います。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		まだまだ十分とは言えませんが、長期休暇の際は可能な範囲でご本人と保護者様と確認をとりながら、興味のある活動に参加頂いております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		個々のお子さんの能力と適正分布にパラツキがあり、グループ分けや個別プログラムの構成に課題もあり、活動の選択肢をもっと増やせればと考えております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		朝礼・昼礼時に当日のプログラム内容及び配置確認を実施しています。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	2		その日の振り返りを療育ノートに記入しておりますが、可能な限りミーティングの機会も増やしたいと思います。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	4		まだまだ改善の余地もあり、周知徹底と時間配分を調整して行きたいと思います。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2		基本的には出来ているが課題も多く、より多くの職員が参加できる様に工夫したい。
関係機関や保護者との連携関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか	6	1		必要な会議には自管管及び管理者が出席しております。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			学校との話し合いの場を設けることが時間的に厳しく、情報共有も限定的になっているのが課題になっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3		現在医療ケアが必要なお子さんはおりませんが、アセスメント時に主治医のある方はご連絡先を確認させて頂いております。

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	3	就学前の利用施設の情報は、新一年生や未就学時から継続的な課題があるお子さんであった場合、各施設との情報共有を図っております。
	㉑	学校を卒業し放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	5	1	1	退所時サマリーを発行しており、ご希望により直接の訪問も行います。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	4	直接的に助言や研修を受ける機会はこれまでございませんが状況に応じて専門機関との連携は致します。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	5	障がい者への理解を深めて頂く為に、次年度より地域の児童施設との交流も積極的に持ちたいと思います。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	3	なかなか参加できない状況になっておりますが、参加者を固定せずに、部会などは積極的に参加したいと思います。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		面談も含めた話し合いの機会を増やし、共通理解を深めたいと思います。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	2	より相談し易い環境を整え、潜在的な悩みも顕在化しそれぞれのご家庭の環境でも実践できる支援を模索したいと思います。
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		より分かり易い説明と聞きやすい環境作りを心掛けます。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		面談だけでなく、より相談し易い環境づくりを行います。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同志の連携を支援しているか		2	5	継続課題になっております。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	4		現在マニュアル化も進めておりますが、潜在的な苦情にも配慮出来るよう、伝えやすい手段と物を言いやすい環境作りを心掛けております。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		年に4回の会報や事業所毎のイベントの開催情報やお知らせ等を配布。キッズわん各事業所の紹介や各種情報及び日々の活動などもホームページでご紹介しておりますが、
	㉜	個人情報に十分注意しているか	6	1		個人情報の取り扱いに関しての誓約書及び社内研修を行っております。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	6	1		児童に対しては声掛けと共に視覚的効果を使って意思の疎通を図っており、保護者の方にも面談時に最近のコミュニケーション方法に変化があるかなど確認しております。
非常時等の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか		2	5	普段の活動の中で近隣住民の方との挨拶などは積極的に行っておりますが、招待できるイベントの企画は課題となっております。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	6		現在各種マニュアルの整備を組織的に進めておりますが、まだ策定出来ていない内容もあり、整備が完了した後に適宜周知・説明を実施する予定です。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		半年に1回全児童・職員を対象とした避難訓練を企画しておりますが、天候及び利用者状況や人員の都合などにより十分なされおらず、マニュアル整備と合わせて各災害を想定した避難訓練を実施しております。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2		可能な限り研修の機会を増やしたいと思います。
	㊳	どのような場合にやむをえず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	5		支援方法の選択肢を増やし、身体拘束を行わない対応を目指しておりますが、必要な支援が身体拘束に当たるのかの解釈や判断も難しく、現時点では明らかに拘束が必要となるお子さんに対してのみ、保護者さまへの事前説明しと了解を得ており、サービス計画書に記載させていただきます。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		直接医師からの指示は頂いておりませんが、保護者からの書面や聞き取り結果に基づき、可能性のあるものは全て排除し、適宜保護者への確認も行っております。
㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2		事例検討が十分出来ておらず機会を増やしたいと思います。	